

長谷山だより

令和4年5月9日発行
碓井中学校通信 5月号
文責 校長 坂田 統穂

学習参観、ありがとうございました



4月23日(土)は、お忙しい中、学習参観にご参加いただきありがとうございました。新型コロナウイルス感染症予防ということで、各ご家庭2名以内の参観や来校時の検温・手指消毒、マスクの着用はもちろん、学年ごと廊下からの分散参観など様々な点においてご協力いただきましたことに感謝申し上げます。全学年の来校者数が80名と、たくさんの保護者の方においでいただきました。参観していただくことで、久しぶりに生徒、教職員ともに活気に満ちた時間を過ごすことができました。特に3年生につきましては、入学して初めての学習参観となりました。新学期がスタートして約2週間が過ぎた子どもたちの様子はいかがでしたでしょうか。1年生は、少しずつ中学校生活に慣れ、集中して学習に取り組む姿を見せていたのではないのでしょうか。2・3年生も先輩、最高学年の上級生として頼もしく成長した姿をご覧いただけたのではないかと思います。皆様からご記入いただいたアンケートの「5よくあてはまる、4だいたいあてはまる」の結果は下記のとおりです。ご協力ありがとうございました。少しずつでも行事が再開できて評価をいただいたことは、年度初めから子どもたちにとっても教職員にとってもよいスタートが切れたと感じています。また、連休明けの10日から1年生は宿泊訓練、月末にはウォークラリー大会を予定しています。新型コロナウイルス感染症の状況にもよりますが、学習参観同様感染対策をとりながら少しずつ行事を再開させていきますので、ご家庭でもご協力をお願いいたします。

- 1 生徒はチャイムが鳴る前に着席(集合)し、授業の準備ができていましたか。〔83%〕
- 2 生徒が積極的に授業に参加し、生徒どうしが協力しながら学習している姿がみられましたか。〔77%〕
- 3 生徒が授業のめあてを確認し何を学習するのか理解して授業にのぞんでいましたか。〔92%〕
- 4 生徒は元気で気持ちの良いあいさつができていましたか。〔86%〕
- 5 校内や校舎回りなど清掃は行き届いていましたか。〔94%〕
- 6 教職員は、こちよ挨拶や案内、対応ができていましたか。〔96%〕

5月と6月15日までの主な行事予定

日・曜	行事	日・曜	行事
5月9日(月)	1年生宿泊学習事前指導	6月1日(水)	3年生実力テスト、チャレンジタイム①
10日(火)	1年生宿泊訓練1日目	2日(木)	チャレンジタイム②
11日(水)	1年生宿泊訓練2日目	3日(金)	チャレンジタイム③
13日(金)	PTA評議委員会 19:30~	6日(月)	チャレンジタイム④
16日(月)	避難訓練	7日(火)	チャレンジタイム⑤
17日(木)	眼科検診	8日(水)	期末考査
20日(金)	生徒会専門委員会	9日(木)	期末考査
26日(木)	内科検診	10日(金)	期末考査・部活動生激励集会
28日(土)	ウォークラリー大会	13日(月)	フォローアップタイム①
30日(月)	振り替え休日	14日(火)	フォローアップタイム②
		15日(水)	歯科検診・フォローアップタイム②

4月25日(月)「部活動発会式」

新入生が部活動に正式入部をし、碓井中学校の部活動が動き出す「部活動発会式」を開催しました。この発会式には、本校の部活動に入部していない生徒(校外で活動するクラブチームなど)も含め、全校生徒が体育館に集まりました(コロナ感染対策の上で集合しています)。その中で部活動生としての心構えや約束事などについて担当者から話がありました。



- ・ 学校の部活動には、文化系の部活動(美術部、放送部)と体育系の部活動(野球部、陸上部、サッカー部、バレー部、バスケット部、水泳部)があり、それぞれ「中学校文化連盟」と「中学校体育連盟」という組織に加盟しており、全国までつながる組織の一員として活動していること。そして組織の一員として一人一人がルールを守った上で、技術や体力を高め、自分自身に磨きをかけること。
- ・ 部活動をするためには、家族や地域の方々、部活の指導にかかわる先生方など多くの支えが必要なこと。この支えなくして、自分の技術や体力を高めることができないため、多くの支えをいただく方への感謝を常に持つこと。
- ・ 部活動をすることによって、家庭での学習や手伝いなどがおろそかにならないよう、強い意志で自分の生活を維持すること。

部活動生はこうした話を心にとめ、今後日々の部活動に励んでくれると思います。また、コロナ禍であっても、できることに力尽くして、仲間とともに中文連、中体連共に公式の大会を目標に据えて頑張ってくれることを期待しています。

先言後礼(せんげんごれい)

先日生徒全員に対して確認したのが、この「先言後礼」という挨拶の仕方です。「語先後礼」ともいいます。挨拶は、相手の顔を見ることが大切であり、言葉と礼が同時だと床に向かって挨拶していることになってしまいます。気持ちを伝えたい人は、目の前にいる相手。ならば、まずは、相手の目を見て「お願いします」。そして、お辞儀は心を込めて。このような内容を全員で確認しました。すべてのことに意味があることも実感したのではないのでしょうか。



定期考査(中間考査・期末考査)前後に、帰りのHRの時間を延長したチャレンジタイム【前】とフォローアップタイム【後】を行っています。そしてこの時間にブロック活動を取り入れ、上級生が下級生に教えあい活動をするにもなります。チャレンジタイムでは、試験範囲の学習を行います。自分の苦手とするところ、理解が不十分な箇所を重点的に行います。そしてフォローアップタイムでは、定期考査の結果で、不十分だったり、できなかったりした問題の直しや、類似問題、発展的な内容の問題を行います。「鉄は熱いうちに打て」、試験が終わった瞬間から次の試験に向けた学習が始まります。チャレンジタイムとフォローアップタイムの時間を活用して、学習内容を確実に定着していくようにすることが大切です。また、「やった!」「できた!」を味わうことで、やる気と自信を持たせたいと考えています。